

ぽらーの花巻

JAIわて花巻

PublicRelationMagazine, PolanoHanamaki

特集

JAIわて花巻オリジナルブランド

花巻ブルー その美しさに迫る



ちょっと
いい話

食堂「はんぐはぐ亭」で提供中!

健康定食

農産物直売所「母ちゃんハウスだあすこ」店舗内にある食堂「はんぐはぐ亭」では、ヘルシーでおいしく減塩に特化したヘルシー減塩ランチを1日20食限定で提供しています。管理栄養士監修のヘルシー減塩ランチは毎月メニューが変わり、摂取カロリー・塩分量ともに成人の1日の必要量の3分の1以下に抑えられています。

5月のヘルシー減塩ランチ

- (メニュー)
- ・雑穀ごはん
 - ・ブロッコリーとひじきのオムレツ
 - ・タルタルポテト
 - ・モヤシのペペロンチーノ
 - ・春野菜のミネストローネ
 - ・オレンジのクリームゼリー
 - ・ピクルス



610kcal 塩分3.2g 650円(税込)

JA産直でJAカードをご利用で

いつでも5%OFF

管内対象店舗

- ①母ちゃんハウスだあすこ(花巻市野田)
- ②あぜみち(北上市流通センター)
- ③母ちゃんハウスだあすこ沿岸店(大槌町大槌)



※対象のJA直売所のご利用分をJAカードでお支払いいただくと、JAカードご利用代金ご請求時に割引した額で請求致します。一部、対象とならない商品・サービスがあります。本チラシ掲載の内容は平成29年5月現在のものであり、予告なく割引率の変動、本特典を終了する場合があります。本特典は三菱UFJニコスが発行するNICOSブランドのJAカードのみが対象です。

※詳しくは、JAのホームページ(直売所情報)をご覧ください。
<http://www.jahanamaki.or.jp/>

1.熱意に溢れる平成29～30年度の新役員2.朝早くから、採れたて作りたての商品を並べる会員3.年1回行っている視察研修。個々の悩みを相談し、生かしている4.店内には、産地間交流をしているJA紀の里やJA沖縄など約45JA70店舗から届いた旬な食材も並ぶ5.新鮮な商品を求めるお客さんでにぎわう店内

「開」店直後から活気に溢れ、にぎわう農産物直売所「母ちゃんハウスだあすこ」。「常設店舗が欲しい」という女性部員の思いと、「消費者と農業者が集う場を作りたい」というJAの思いが重なり、平成9年に大型の産直施設として、全国に先駆けて開設した。そんなだあすこの店内に新鮮な商品を並べているのが、母ちゃんハウスだあすこの会だ。毎日、訪れたお客

さんや笑顔にさせるその裏には、会員の日々の努力がある。部会ごとに定期的に開いている講習会と、近隣の産直などを訪ねる視察研修。「安全安心で質の高い商品を販売しよう」という高い志を全員が持つているからこそ、勉強を怠らない。情報交換もまた然り。出荷時に、職員や会員同士で情報交換を積極的に行い、お互いに切磋琢磨する。もちろん、おもてなしの心

も忘れない。創業祭や感謝祭などのイベントを定期的に開催。会員自らが積極的に企画し、お客さんを楽しませている。照井克洋会長(写真1左手前は「だあすこ」を多くの人に知ってもらい、来てもらい、喜んで帰ってほしい」と話す。だからこそ、積極的にお客さんと話し、生の声を大切にしている。だあすこが長きに亘り、愛され続けている理由。それは、新鮮で安全安心な

商品だけではなく。「また来たい」と思わせる会員の温かい人情が溢れているからだろう。そんなだあすこは、今年で開設20年の節目を迎える。照井会長は「岩手県にだあすこ在り」を目指す。過去20年を顧みて、新しい産直の姿を模索したい」と意気込む。その言葉に詰まっている、強い情熱と優しき愛情。だあすこは、人々で創られている。

安全安心を届け、地域から愛される母ちゃんハウスだあすこ “開設20年”の歳月を糧に未来を創る 母ちゃんハウスだあすこの会 ◎花巻市野田



【部会データ】農産物直売所「母ちゃんハウスだあすこ」への出荷者331人で構成。野菜や花、加工、クラフト、果物、鶏卵の6部会があり、部会ごとに趣向を凝らした活動を展開しているほか、日替りで会員が店頭立ち、お客さんから生の声を聞いて個々の生産や店づくりなどに生かしている。店内には、新鮮な野菜や花、作りたての和洋菓子や惣菜などの加工品が並ぶほか、地元野菜を使った手作り料理を楽しめる食堂「はんぐはぐ亭」もある。

CONTENTS

ぼらーの花巻 ●No.231 / 平成29年(2017)5月号

- 02 ぼらーのCOVER STORIES
- 04 愛農土に生きるII 特集
- JALいわて花巻オリジナルブランド
- 花巻ブルー その美しさに迫る
- 08 ぼらーのNEWS ●地域の話
- 10 あぐりネット
- 12 がんばる青年部 / 食と農の掲示板
- 13 旬の産直大百科 / ぼらーの広場
- 14 Information ●理事会だより / 監事会だより / 役員室より
- 16 風趣点景 ●管内四季だより / 編集後記

JAいわて花巻オリジナルブランド 花巻ブルー その美しさに迫る

JAいわて花巻で生産する青色に輝く花々「花巻ブルー」をご存知だろうか？人の心を魅了する美しさの裏には、栽培に情熱を注ぐ生産者がいて、部会・JA・行政が一丸となったPR活動がある。今回の特集では、誕生秘話とともに花巻ブルーシリーズの魅力を紹介する。

<p>4月~5月</p> <p>一重咲き、八重咲き、万重咲きなど、多くのバリエーションがあり、2000種を超える品種が存在するクレマチス。一番の需要期は母の日で、JAで生産するクレマチスは全国に届けられる。管内は、栽培の北限産地として、幾年もの厳しい冬を乗り越え丈夫に育ち、鮮やかな花を咲かせる。</p> <p>クレマチス</p>		<p>4月~6月</p> <p>別名ツリガネソウと呼ばれており、釣鐘の形をした可愛らしい花が咲く。管内の栽培面積と販売額は日本一で、品質の良さも抜群だと高い評価を受けており市場関係者やバイヤー、消費者などから厚い信頼を寄せられている。青色のほか白やピンク、紫などバラエティーに富んでいる。</p> <p>カンパニュラ</p>	
<p>7月~10月</p> <p>JAいわて花巻の切花取扱高の半数以上を占めている重点品種。栽培はハウスと露地で、最盛期である盆時期のほか、5月~11月下旬まで長期間に亘り出荷する。管内では、青紫色や白色のほか、ピンク系も多く栽培し、バリエーションも豊富。また、オリジナル品種も多数ある。</p> <p>切花リンドウ</p>		<p>8月~10月</p> <p>切花品種と違う矮性種(草丈が短い)で、管内では青紫色の「いわて乙女」が代表的な品種となっており、鉢植えでは、取扱の多数を占める。平成27年秋にはJAいわて花巻のオリジナル品種「花巻銀河ブルー」がデビューを果たし、その品質の良さが全国から注目を浴びている。(P7で紹介)</p> <p>鉢植リンドウ</p>	

花きの大産地に

JA管内では、年間を通して多くの花が生産される。市場関係者や買参人からは、品質の良さと美しさはもちろん、丁寧な作り上げる農家の職人技ともいえる生産能力に高い評価と厚い信頼が寄せられている。しかし、消費者(エンドユーザー)の認知度の低さが課題のひとつ。JAと花き関係部会は「花」といえばJAいわて花巻「そんな産地を構築すべく、平成27年に管内の青色系統の花の総称を「花巻ブルー」と名付け、アピール活動を始動した。

ブルーシリーズ 誕生秘話

ブルーシリーズの誕生からさかのぼること1年前、園芸販売課で鉢花を担当していた営農指導員が、駅構内に貼られたポスターの前で足を止めた。JA管内を期間限定で走る青色の車体の蒸気機関車「SL銀河」だ。SL銀河の乗車券は運行前に完売するほどの人気だったこともあり、ポスターを眺めながら「乗

客は全国各地から訪れる。これは絶対のPRのチャンス」と思った。「JA産の花とSL銀河をコラボレーションさせたい!これが物語の始まりだった。

起爆剤として

SL銀河とのタイアップは、管内の花き産地を知ってもらおうきっかけ作りが目的だった。また、平成27年秋にデビューを控えていたJAのオリジナルブランドの鉢花リンドウ「花巻銀河ブルー」を盛大にデビューさせたいという思いもあった。だからこそ、単発ではなく継続的にアピールができ、インパクトのあるものが必要だった。

JA産の花き全体をアピールする起爆剤となるものを探し、通年生産する多種多様な花々をどうアピールすべきか、考えを巡らせていた時、「青色の花々が脳内に浮かんだ。SL銀河のコンセプトである銀河のイメージや宮沢賢治の世界観とも合致する!これはいける!「花巻ブルー」が誕生した瞬間である。

創りびとたち

~熱き情熱を傾け創りあげる生産現場の声~

オールJAいわて花巻として産地を強化 ~日本全国の花屋に1年中並ぶ花に~



花栽培をして30数年、試行錯誤を続けながら技術向上と年間を通じた出荷体制の確立に努めてきました。長年、花と共に歩んできましたが、このブルーシリーズには、産地や花のPRとして大変期待しています。

この広い管内の強みを生かし、今後は他の品目を加えながら「オールJAいわて花巻」としてのリレー出荷体制を確立し、生産量の維持に努めていければと思っています。

また、自分たちが生産する花のPR活動や消費者が目に見えて分かることは、生産意識が高まる良い機会です。ブルーシリーズが地元の花屋に常時並び「この町の花」という位置付けになってほしい。そして、全国の花屋に取り扱ってほしいです。

部会では、これからも高品質生産に向けた栽培に力を注ぎ、全国どこに出しても恥ずかしくない花を生産していきます。



花巻地域花き生産部会 高橋 誠 部会長

この美しさ、まずは地元に ~産地を未来に繋ぎ発展させるために~

昨年の夏に就農し、クレマチスを中心に鉢花を栽培しています。それまでは首都圏で花のギフト関係の販売に携わっており、取引先でもあったJAいわて花巻のブルーシリーズは品質もアイデアも素晴らしい商材だと感じていました。

鉢花リンドウ「花巻銀河ブルー」が昨年秋季に3つの賞を受賞したこともあり、市場関係者や買参人からは花巻銀河ブルーをはじめブルーシリーズは注目されていると思います。一方で、地元ではブルーシリーズを知らない人が多いのが現状。

この素晴らしい産地と花を地域の皆様に知ってもらいたい!それは同時に、諸先輩方が築き上げた産地を未来に繋ぎ、発展させるために絶対不可欠な「新規栽培者とファン」を増やす事に繋がると思います。

私も栽培技術向上に精進していくことはもちろん、販売の現場での経験を生かし、産地の構築に貢献していきたいと思っています。



鉢花生産部会(新規栽培者) 淵澤 拓也 さん

生産者と消費者を繋ぐパイプとして ~一般消費者へのPR活動を強化~

切花や鉢花の部会の枠を越え、異なる品目や品種を「花巻ブルー」としてPRすることは、多品目を通年出荷している産地の強みや、品質と技術の高さ、そして産地全体をブランド化させることに繋がります。

ブルーシリーズは、花き関係者には認知されてきましたが一般消費者に浸透していないのが現状。今後はエンドユーザーである消費者に花の素晴らしさを伝えること、そして、IT化で変化する消費者や販売者の情報収集や商品入手方法を敏感にキャッチし、ニーズを取り入れたPR・販売活動を充実していきます。

5月からJAのホームページにブルーシリーズのページを開設し、閲覧で

きるQRコードを印字した「花巻ブルー」のシールとラベルを制作しました。まずは出荷物に付けて全国へ発信します。また、地域企業や行政と連携し、地域の人や観光客が集まる場所への花の設置も進めます。

日々、生産活動に励む農家の努力を絶対に無駄にしたい。また、この企画を創り上げた先輩と生産者の思いを未来に繋ぎ、生産者と消費者を繋ぐパイプとなり、JAいわて花巻の花の素晴らしさを広めていきます。

営農推進部園芸販売課 佐々木 隆史 調査役



JAいわて花巻ホームページ 「花巻ブルー」シリーズ特設ページ
<https://www.jahanamaki.or.jp/rindou/>



平成27年秋にデビューした世界に一つだけの鉢植リンドウ 花巻銀河ブルー®

昨年、デビューから2年目にして、異例ともいえる数々の賞を受賞した「花巻銀河ブルー」。生産者たちが手塩にかけて育てた花巻銀河ブルーは大きな期待を背負いながら、これまでに増して輝きを放ち、3年目のシーズンに臨む。



魅力

光沢のある濃い青色や、室内観賞で1カ月以上楽しめる期間の長さ、一輪の大きさや一鉢に咲く花数の多さ、優れた耐暑性。鉢花生産部会だけで生産するオリジナル品種。

出荷時期

鉢花リンドウの需要期は9月の敬老の日だが、花巻銀河ブルーは「最も美しい状態でお客様に届けたい」という生産者の思いから、産地・消費地ともに気温が低下し品種の魅力を最大限に引き出せる10月にこだわって出荷。

名前の由来

開花した花弁の深い青色と、雄しべ、雌しべの乳白色の群生が星空のように見え、花巻の偉人・宮沢賢治が描いた童話「銀河鉄道の夜」の世界観をイメージできることから名付けた。

受賞歴

平成28年10月 第13回国際フラワー EXPO (通称 IFEX) IFEX フラワー大賞・鉢物部門 優秀賞
平成28年10月 (株)フラワーオークションジャパン JFI トレードフェア2016 秋 in FAJ ベストプランツ賞
平成28年10月 鴻巣花き株式会社 秋季品評会ポットプランツコンテスト金賞

各種登録

品種登録 農林水産省に品種の登録をしています。登録番号第25612号
商標登録 「花巻銀河ブルー」は花巻農業協同組合の商標登録です。登録番号第5858719号

産地PRの起爆剤として～未来を照らす青き希望の光～

「鉢植リンドウは10月の出荷では売れない」と言われていたが、「この時期にしか表現できない美しさ」で勝負したいとこだわりをもって生産し、2シーズンの販売をしてきました。

良い物を作れば需要期といわれている時期以外でも十分勝負できる事が明確に見えました。名誉ある賞を頂いたり、カタログギフトの表紙を飾らせてもらうなど、広くアピールもでき、現在10月出荷に向けた契約や注文など、需要が高まっています。だからこそ失敗は許されず、頂いた高い評価に見合う、それ以上の期待に応える品質で出荷し、産地としての責任を果たします。

デビューを盛り上げてくれたのが、ブルーシリーズとしてのPR

活動や販促資材の制作、我々の試験栽培活動のインターネットでの情報発信など、PRの土台を構築してくれていた事でした。ブルーシリーズや花巻銀河ブルーの存在は多くの可能性を秘めています。産地の素晴らしさの再評価に必ず繋がると信じています。地域住民や若い方々が花に興味を持つきっかけ、地元の方々が「我が地域の花」として誇れる存在を目指したい。JAや行政と共に発信力を強め、今後も栽培に情熱を注ぎ、部会が丸となって頑張ります。

鉢花生産部会 佐藤 巧 部会長



SL 銀河とのタイアップ ～全国から訪れた観光客へ～

SL 銀河の運行期間中、毎月JA職員が乗車し、生産現場の思いやブルーシリーズを紹介しながら、オリジナルリーフレットなどを配布している。車内で抽選会を行い、当選者に最盛期を迎えたブルーシリーズを



プレゼント。この企画を皮切りに通年花き生産のアピールが始まった。市場関係者やバイヤーなどが話題をキャッチし販路が広がったほか、乗客がSNSなどに投稿し、ネット上での広がりも見られた。



観光名品としてプレゼント ～たくさんの人に知ってもらいたい～

花巻温泉郷観光推進協議会が企画した宮城県のJR仙台駅で行った観光キャンペーンに参加。通行人に季節のブルーシリーズをプレゼントしPRした。



オリジナルリーフレット ～大切にしたい一品に～

「家を持って帰ってもらいたい」。その思いから、ブルーシリーズの紹介パンフレットのほか、ブルーシリーズをあしらった絵葉書やコースターをセットにしたリーフレットを制作。



地域が誇れる花に ～行政と共にPR～

行政やJAなどの関係機関に贈呈し、市民が訪れる場所への設置はもちろん、トップセールスや広報誌への掲載、名刺への印字などで広く周知活動を要望するとともに、共にPR活動を展開している。



ブルーシリーズが繋ぐ人の流れ ～地域住民や観光客に～

JAの産直母ちゃんハウスだあすこに特設コーナーを設置し販売。花巻市内の温泉施設には観賞用の花やポスターなどを飾り、観光客や地元住民へのアピール活動を行った。花を見た宿泊客が産直店へ足を運び購入するという流れの構築を目指した。



前に進む原動力

早速、企画書を作りSL 銀河を運行する鉄道会社に提案した。しかし、そう簡単には掛け合ってもらえない。何度断られても、企画書の提出や行政に取り次いでもらいながらの会議への参加など、とにかく出向き、思いを伝えた。どんな時も前に進み続ける、その原動力がどこから来るのか問うてみた。「魅せられた。美しい花と、それを作る生産者たちに。」返事は即答だった。国内でもトップレベルの品質で生産する現場を日々見ているからこそ、そして切花や鉢植などの部会の枠を越えてブルーシリーズの企画に賛同し、共に産地を盛り上げようとする生産者たちの顔を思い浮かべると、妥協や諦めという思考は生まれなかった。

感動を与える花

「わぁー綺麗」。SL 銀河から降車してくる観光客が青色に輝く花に微笑む。ブルーシリーズの誕生から2年、SL 銀河の運行に合わせて毎月

行っている観光客への月ごとのブルーシリーズプレゼント企画は好評だ。もちろん今年も実施する。(P6左上参考) SL 銀河の運行会社とも、今では固く手を結び、相乗効果を生み出す良きビジネスパートナーとなった。美しい花々と、その素晴らしさを伝えたいという強い思いが、人に感動を与え、思考と行動を変えたのだ。地域住民がJA産の花を持って町を歩く姿が「当たり前」になる日も来るかもしれない。

布石

3シーズン目を迎えたブルーシリーズ。企画当初に思い描いていた姿に少しずつ近づいてきている。生産者の努力と直向きな生産活動、地道なPR活動は、着実に実を結び、新たな市場を開拓した。JAいわて花巻の花への評価が高まり、その美しき花にファンがつき、さまざまな広がりを見せ始めている。この一歩一歩が、管内で生産する花きを全国に発信する大きな布石となるだろう。

子育て女性の憩いの場 今年度の「わいわい子育てフリースペース」開設を開始



ミニこいのぼり作りを楽しむ親子

J Aは4月14日、今年度の子育て支援事業「わいわい子育てフリースペース」の開設を始めました。

スペースは、子育て中の女性とその家族を対象に、気軽に集まれる憩いの場として、毎月第2・4金曜日に野田神社「洗心館」(花巻市野田)で開設。第4金曜日は、季節に合わせて工作やおやつ作りを行っています。

4月28日には6組12人が参加。親子で楽しみ協力しながら、折り紙や画用紙でオリジナルのミニこいのぼりを作ったほか、ボランティアグループの会員たちと遊びました。参加者全員でおやつも食べ、交流を更に深めました。

お問い合わせ ☎生活ふれあい課 0198-4511213

明るく豊かな地域社会を 平成29年度集落委員委嘱状交付式



高橋専太郎組合長から委嘱状を受け取る集落委員

J Aは4月、平成29年度集落委員委嘱状交付式を各地域で行いました。

花巻地域154人、北上地域82人、西和賀地域31人、遠野地域100人の集落委員が委嘱状を受け取りました。4地域合わせて367人の集落委員たちは、農家とJ Aの連携をはかり、情報の提供や協同活動の推進、地域農業の発展に積極的に取り組みます。また、集落委員を4年以上務め、平成28年度末で退任された16人の方々に、感謝状と記念品が贈られました。

花巻地域では4月14日、花巻市内のホテルで行われ、任命者一人一人が呼名された後、高橋専太郎組合長から代表者へ委嘱状が手渡されました。

新酒の出来栄え競う

第98回南部杜氏自醸清酒鑑評会

(一社)南部杜氏協会は、4月4日から7日の4日間、花巻市石鳥谷町で新酒の出来栄えを競う「第98回南部杜氏自醸清酒鑑評会」を行いました。

北海道から岡山県まで全国各地142の蔵元から吟醸酒328点、純米吟醸酒245点、純米酒154点、合わせて727点を審査しました。今回は消費者ニーズの変化や海外展開などによって吟醸酒が減り、純米吟醸酒が増えました。6日の第2番では、第1番を通過した吟醸酒183点、純米吟醸酒100点、純米酒62点を仙台国税局や(公財)日本醸造協会などから参加した12人が審査員として味や香り、後味などを審査しました。

県工業技術センターの米倉裕一醸造技術部長は「今年は程よく穏やかな香り、軽やかでしっかりとした味わいで飲みやすい」と評しました。



一点一点、味や香りを確認する審査員

心安らかなお見送りを 花巻葬祭センター通夜会館竣工式



1.テープカットで完成を祝いました 2.玉串を奉奠した高橋組合長 3.完成した通夜会館

J A子会社の(株)J Aグリーンサービス花巻は4月20日、花巻葬祭センター通夜会館(花巻市東町)の完成を祝う竣工式を同会館で行いました。

近年需要が高まっている家族葬などの小規模な葬儀に対応するため、平成28年6月から整備を進め、4月24日から利用者の受け入れを始めました。

通夜会館は花巻葬祭センター黄泉苑から東に約100m離れた地点に建設し、純和風の鉄筋造平屋建てで、床面積は約468㎡。館内は大まかに二つの部屋に区切られ、同時に2組の家族葬の受け入れが可能です。1組あたりのスペースを約70㎡確保し、それぞれに玄関や控室、和室、浴室、寝室などを配置しています。

ています。遺族が自宅と同様に過ごすことができ、また、心安らかにゆっくりと見送りが出来るよう設備を完備しました。

竣工式には、役員や施工関係者、近隣住民など約70人が参加。宮司が建物全体を祓い清め、関係者が玉串を奉奠する神事を行ったほか、施工関係者への感謝状贈呈、テープカットで施設の完成を祝いました。

高橋専太郎組合長は「地域にあつて良かったと言われる会館の運営をして、地域住民皆様の期待に応えていきたい」と話しました。

利用開始を控えた4月22、23日の両日は内覧会を開いて地域住民に披露し、設備やさまざまなサービスを紹介しました。

花巻葬祭センターでは、年中無休・24時間の電話受付をはじめとする、万全のサービス体制を整えています。

☎0198-2214382

地域ぐるみで支える高齢化社会

認知症サポーター養成講座開催

J Aは3月18日、J A総合営農指導拠点センター(花巻市野田)で、役員約530人を対象に認知症サポーター養成講座を開きました。

花巻市の認知症地域支援推進員を講師に招き、認知症と物忘れの違い、種類や症状などの基礎知識、寸劇を通して介護環境や接し方、ケア方法などを学びました。受講した役員には認知症サポーターの証として「オレンジリング」を贈呈したほか、地域ぐるみで高齢者や認知症の見守りを行うシステム「花巻市SOSネットワーク」への登録を促しました。

高橋専太郎組合長は、「管内の高齢化進展を見越し、地域と密着した事業を進める上で、全役職員が共通の認識を持ち、高齢化社会におけるJ Aの運営について意識を高めることが大切だ」と講話しました。



受講した職員が受けた「オレンジリング」

米 穀

小麦5月の管理方法

◆後期追肥

子実のタンパク質含有率の向上が求められています。積極的な追肥でタンパク質の向上を図りましょう。

考え方

- 生育量が旺盛な場合は追肥時期でコントロール
- 生育量が多い→追肥を遅らせる
- 生育量が少ない→追肥を早める

▶**ナンブコムギ** 倒伏しやすいので、追肥量は控えめ
生育量多：穂揃期(5月中～下旬)にN成分で2kg/10a
生育量少：減分期(5月上旬)にN成分で2kg/10a

▶**ゆきちから** タンパク質含有率向上のため積極的に追肥を実施
生育量多：穂揃期にN成分で6kg/10a
生育量少：減分期～穂揃期(5月上旬～下旬)にN成分で4kg/10a

▶**銀河のちから** 倒伏しにくいので、早めの追肥
減分期～穂揃期にN成分で4～6kg/10a

干ばつ時の対策

干ばつの影響は、品質低下や収量減少に繋がります。下記の通り判断し、早期に対策しましょう。

【実施時期】出穂～開花期(5月)

【判断基準】15日間で20mm以上の連続降雨がなく給水予定後7日以内に20mm以上の降雨が期待できない場合

【適応ほ場】排水対策実施ほ場(本明渠、弾丸暗渠施工済)

【手順】①額縁+ほ場の明渠(15m間隔)を施工②暗渠、排水口の閉鎖③5～9時間でほ場全面に水が行き渡るよう給水④ほ場全体が湿潤になったら、直ちに暗渠、排水口を開放し排水

営農振興

ベテラン農家の技を営農指導に！「農の匠」始動！

J Aは、昨年度から地域の中核農家を「農の匠」として任命し、農家所得向上に向けた営農指導体制を強化しています。4月13日に新規6人を加えた合計29人に委嘱状を交付しました。



◆活動の内容◆

下記の6項目を柱に、長年の経験と豊富な知識を使った実践的な指導のほか、J A営農指導員への助言や指導のコツ、農業生産の真髄を伝授し、より厚みのある営農指導体制を構築します。

- ①専門的生産技術指導支援活動②営農指導員への助言並びに指導支援活動③産地情報(作柄・出荷)作成に係る適正な情報提供支援活動④仲間づくり支援活動⑤地域に根づかせる人材(後継者)育成支援活動⑥その他、目的の実現に向けた助言・指導支援活動
- ※任期は1年とし、代表理事組合長が委嘱します

◆平成29年度「農の匠」◆

【花巻地域】中村修(キュウリ) / 古館良介(ミニトマト) / 晴山文佳(ピーマン) / 佐々木静男(ナス) / 合澤誠一(ネギ) / 上川利勝(アスパラガス) / 伊藤正孝(リンゴ) / 小原洋一(リンゴ) / 佐藤秀明(ブドウ) / 佐々木和弘(ブドウ) / 伊藤俊美(リンゴ・洋ナシ) / 板垣忠夫(リンゴ) / 高橋誠(草花) / 川村孝信(雑穀)

【北上地域】瀬川栄一(サトイモ) / 佐藤祥行(アスパラガス) / 及川雅晴(アスパラガス) / 高橋靖(ネギ) / 伊藤源一郎(ピーマン) / 佐藤邦夫(キュウリ)

【西和賀地域】南川信一(リンゴ) / 高橋明(アスパラガス) / 橋本烈(ハウレンソウ) / 和泉隆(ミニトマト) / 久保三三夫(露地イチゴ) / 本多博(四季成りイチゴ)

【遠野地域】奥田満(アスパラガス) / 菊池由雄(ピーマン) / 菊池啓造(ニラ)



グリーンセンターの定休日

5月・6月の定休日と営業時間は次の通りです。ご確認の上ご来店ください。

※定休日と営業時間はそれぞれの店舗によって異なりますのでご確認ください。
※右記のほかに、5月31日(水)が第1四半期決算棚卸しのため全店舗休業します。

	5 月	6 月
花巻	無休 平日…8:30～18:00/土・日・祝日…8:30～17:00	無休 平日…8:30～17:30/土・日・祝日…8:30～17:00
石鳥谷	27日(土) / 8:30～17:00	10日(土) / 8:00～17:30
大迫	土曜日・日曜日・祝日 / 8:30～17:00	土曜日・日曜日・祝日 / 8:30～17:00
東和	無休 / 8:30～18:00	17日(土) / 8:30～18:00
北上	無休 平日…8:30～18:00/土・日・祝日…8:30～17:00	25日(日) / 平日…8:30～18:00/土・日・祝日…8:30～17:00
西和賀	14日(日) / 平日…8:30～18:00/土・日・祝日…8:30～17:00	18日(日) / 平日…8:30～18:00/土・日・祝日…8:30～17:00
遠野	10日(水) / 8:30～18:00	14日(水) / 8:30～18:00

◆お問い合わせ / 営農推進部生産資材課 ☎0198-22-6192 または、最寄りのグリーンセンターまで

米 穀

水稲栽培がスタート！良質米生産に向けて！

播種後約30日間の育苗期間を経て、田植えがスタートします。適期に適切な田植えを心がけましょう。

◆田植え

田植えは、なるべく暖かく風のない晴れた日に植えることが重要です。

- ①植付け本数の目安は、1株につき中苗3～4本。
- ②植え直しが終わったら、いもち病対策のために取り置き苗はすぐに処分する。
- ③低温が予想される場合は深水管理する。

◆初期病害虫防除

水稲箱施用剤を使用する前にラベルをよく読み、散布基準量・散布時期を確認しましょう。(水稲箱施用剤と水稲除草剤を間違えないよう注意)

- ①水稲箱施用剤は1箱当たり50gを均一散布する。(昨年、穂いもち病が多発、散布量厳守)

◆除草剤

除草効果を高めるため丁寧な代かき、湛水状態を保つことが重要です。

- ①田植後3～6日(代掻き後7～10日)に散布すると効

果を発揮する。

- ②散布直前は深水とし、散布後3～4日間は湛水状態にして田面露出は厳禁。

◆田植機

田植機の作業前点検を行い、農作業安全に努めてください。

銀河のしずく種まきスタート

平成28年秋にデビューした岩手県オリジナル水稲品種「銀河のしずく」の播種作業が4月中旬から始まりました。今年度産から各農家での育苗を開始し、4月13日には農事組合法人なべくらの藤井勇幸さん宅(花巻市鍋倉)で作業が行われました。藤井さんは「マニュアルに沿った忠実な育苗・栽培を行い、今年も特Aを獲得しておいしさを証明し、全国の消費者に安全安心なお米を届けたい」と話しました。



園 芸

ふじの有望系統を探る ～ THE RINGO STAR 未来への挑戦～

若手りんご生産者グループ (THE RINGO STAR) は、9aの新たな展示圃を設置し、ふじの有望系統の中から、管内の栽培環境に適した、高品質で有利販売が可能な系統を見出す計画に乗り出しました。4月17日には、メンバーやJ A、中央農業改良普及センターなどが集まり苗木作りに向けた接ぎ木作業を行いました。

◆展示圃の設置場所

山手と中間の2カ所 ※平場の展示圃は果樹部会で設置済

◆試験する優良系統と植栽本数

宮美ふじ、コスモふじ、平成美人などの6種類の系統を2種類の台木と比較する



果実が実り、収穫できるのは4年後。生育過程や作業効率などもふまえて、さまざまな調査を行います。未来に向けて若手生産者たちの挑戦は続く！

園 芸

春定植タマネギ 2年目の挑戦 農事組合法人リアル

農事組合法人リアルは昨年度、東北では前例のない春定植のタマネギ栽培に3haで挑戦しました。今年、種播機や定植機などの大型機械を導入し、7haで栽培します。また、苗作りから収穫後の乾燥やみがき作業まで一連の作業を同法人が行います。今年2月に種まきを行い、4月中旬に定植、今後、栽培管理を徹底し、7月下旬から収穫が始まります。



昨年、春定植のタマネギ栽培に挑戦し、手応えを感じました。販路も確保し、昨年見えた課題を解消するための対策も講じました。今年には更に収量アップを目指します。育苗から栽培、収穫後の土作りなど、通年を通して作業があるのもメリットのひとつです。



代表 新淵伸彦さん

旬の産直大百科

きたかみ産地直売所あぜみち
JAいわて花巻 北上特産
フレッシュアスパラ宅配便

お申込み
受付中

岩手県一の栽培面積を誇るJAのグリーンアスパラガス。今年もまた、甘みをたっぷり蓄えたみずみずしいグリーンアスパラガスが入荷しています。きたかみ産地直売所「あぜみち」では、毎年多くのお客様からご好評頂いている「フレッシュアスパラ宅配便」のお申込みを開始しています。

フレッシュアスパラ 宅配便

内容量 1.4kg入り
価格 3,800円(税込)
アスパラガス価格2,800円・送料1,000円
※同一住所へ3箱まで発送可



●お問い合わせ・お申込み
きたかみ産地直売所 あぜみち
【住所】北上市流通センター601-8
【TEL】0197-68-3811
【FAX】0197-71-1339
※電話での受付は午前9時～12時
※店舗には申込書を設置しています

すごい! アスパラガスの栄養素!
抗酸化作用を持つビタミンEや、疲労回復効果や美容、美肌にも効果的なビタミンBやC、動脈硬化や高血圧に効果があるルチン、鉄分や食物繊維などなど…栄養素がたっぷり詰まっているすごい食材なのです。

ストレスが減る? アスパラブチン!
つい最近新しく発見された成分で、ストレスを和らげるタンパク質「ヒートショックプロテイン」を増やす効果が! この成分で、ストレスが減り、イライラが抑えられるのだとか!

今年の4月1日から、店舗内のライトが変わりました。店内の雰囲気もこれまで以上に明るくなり、農作物や花など、商品の本来の美しさを引き出しています。安全安心な農作物と明るい店内で皆様のご来店をお待ちしております。



ぼらーの 広場

ぼらーの広場は、読者の皆様との交流の場です。皆様からテーマにちなんだお便りを募集し、紹介しています。投稿を頂いた方の中から抽選で素敵なJA商品が当たります!

今月のテーマ ゴールデンウィーク

娘が東京の大学へ進学した年のGWは、いつ帰るか待ちに待った時でした。「おかえり」と抱きついて涙を流しました。(花巻市・H. A)

GWは田植えで、子どもが幼い頃はどこにも連れて行けません。今は嫁ぎ先で楽しんでいるようです。(花巻市・おどりっかあちゃん)

お嫁に来て6年、今年のGWも田植えの準備(種蒔き)に励むことでしょうか。毎年この時期は大忙し!(花巻市・よっぴまん)

GWは高速道路が混むのであまり遠出はせずに、展勝地で見頃になるであろうしだれ桜や八重桜を見たいです。(北上市・山男)

GWは早生のマルチがけをしようと思っています。早く雪が消えますように。乾いた時に雨が降りませんように。(西和賀町・花子)

今年、結婚式を控えているのでGWはその準備にあてる予定です。そのほかにも、近場の道の駅巡りをしたいです。(紫波町・マツキ)

来月のテーマ(7月号掲載)「私の夏バテ予防」 応募締切/6月12日(月) 消印有効

テーマにちなんだエピソードを募集します。
今年の夏は平年よりも暑くなる予想が出ていますね。皆さんの夏バテ対策をお寄せください!
応募方法: ①テーマにちなんだお話②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号③ペンネーム④JAや広報誌に関するご意見・ご感想を記入の上、はがきまたはメールにてご応募ください。
※投稿頂いた中から内容を誌面に掲載させていただきます。ペンネームが無い場合はイニシャルでの掲載になります。
●はがき: 〒025-8504 花巻市野田 316-1 JAいわて花巻企画広報課「ぼらーの広場」宛
●メール: polano@jahanamaki.or.jp ●当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

お便りを投稿頂いた方の中から抽選で5名様にJA農産物直売所商品やJA商品をプレゼント!

がんばる 青年部

ポリシーブックで組織を活性化! 第8回通常総会開催

青年部は4月8日、花巻市内のホテルで第8回通常総会を開きました。

4地域の盟友やJA関係者などが集結し、平成28年度の収支決算や平成29年度の事業計画など3議案を議論しました。

高橋裕之委員長は「昨年度は、草刈りや農産物の販売などによる沿岸地域住民との交流、熊本地震に関わる募金活動に取り組んだ。今年度は、ポリシーブックの更新を通じた活動で情報共有や課題の解決に取り組もう」と話しました。

また、平成24年度から作成を始め、更新を続けているポリシーブックは、前年度までは青

年部全体として作成してきましたが、今年度からは地域ごとにも作成し、各支部の意見も取り入れていきます。

各地域の盟友の声を収録し、農業や活動の現場の意見を反映させ、行政や関係機関に主張を訴えていきます。



あいさつする高橋裕之委員長

ポリシーブックとは?

青年部が目指す農業のあり方を組織内外に示すため、盟友たちが自ら作る政策集。「policy」という英語には政策と方針という意味があり、自分たちの「政策」を記載し、課題解決のための「方針」を明記しています。



青年組織綱領を唱和する盟友たち

心を耕し未来へ 食と農の掲示板

食の大切さといのちの大切さを伝える
～“花巻まんまーず”研修会で意識統一～



献立のポイントを伝える 齊藤洋美代表(右)

結成から9年目を迎える花巻まんまーず。食のプロフェッショナルとして活動を展開中。今年の活動テーマは「あか・き・みどりーでおいしくな〜れ」



食育教室の基本的献立。ブロッコリーのニックネームは「小さい森」

食育に精通した管内の女性20人で構成するJAの食育リーダー「花巻まんまーず」は4月17日、JA本店の農産加工室で研修会を開きました。

花巻まんまーずは保育園や幼稚園に出向き、子どもたちや保護者への地域に根ざした楽しい食農教育を通して「食」や「農業」の大切さを伝えるなど、年間10回以上の食育教室を年代別で行っています。

研修会には、会員が集まりリーダーとしての使命や役割などの意識統一を行い、子ども向けの調理実習メニューを実際に作りながら、より有効的な手順や盛り付

け方法などを検討したほか、食材の歴史的成り立ちや旬、色や食感など、伝えるべき事項を確認しあいました。

齊藤洋美代表は「子どもが調理をする楽しさや喜びを感じ、食に興味を持つには何をし、どんな手法が必要か。私たちに、調理指導だけでなく“食”が持つ意味や歴史、いのちの大切さを教える使命がある」と会員に呼びかけました。

花巻まんまーずは、保育園や幼稚園での食育教室のほか、さまざまな場で講師を務めています。講師の依頼は生活福祉部生活ふれあい課まで ☎0198-45-1213

毎日の安全・安心をご自宅へ

便利なJAの個別宅配サービス

「JAくらしの宅配便」

のご紹介

安全・安心にこだわるエコープマーク品を中心とした食料品、日用品をはじめくらしの商品をご自宅またはご指定先へ直接お届けします。

国産へのこだわりと安全・安心の品質。JAグループのプライベートブランドです。



◎詳しいご利用方法につきましては下記までご連絡下さい。

生活福祉部生活ふれあい課 ☎0198-45-1213
 北上統括部生活ふれあい課 ☎0197-71-1340

西和賀統括センター管理課 ☎0197-85-3301
 遠野統括部生活ふれあい課 ☎0198-62-6604

—「くらしの宅配便」のご利用方法—

- 1 ご利用にあたり「くらしの宅配便 利用申込書」による会員登録が必要です。登録は無料です。年会費もかかりません。インターネットによる注文も可能ですが、事前にメールアドレスの登録が必要です。利用申込書、注文書、カタログは各支店の管理課にあります。
- 2 カタログからご希望の商品を選び、注文書に記入のうえ、最寄りの支店または各地域生活ふれあい課にご持参、またはファックスでお申し込みください。
- 3 ご注文品は、およそ1週間でご自宅、またはご指定先へ宅配便でお届けします。
- 4 代金はJAの口座振替によるお支払い、または最寄りの支店、各地域生活ふれあい課で現金をご持参のうえ、お支払願います。(代引きでのお支払はできませんのでご了承ください)

役員室より

協同組合の存在意義の発信

常勤監事 今野英二

先日、東京都町田市のアジア農協振興機関が国際協同組合同盟（ICA）から委託され実施する農協中核リーダー育成支援研修会で講師をしてまいりました。ブータン、カンボジアなどの東南アジア6か国の研修員へ、当JAの運営方針と経営戦略について報告をしました。研修員は政府職員、協同組合役員、大学教授で、一か月半の研修終了後、自国で協同組合運動の推進に取り組みます。ICAは、われわれJA組合員を含めて、世界約100か国・地域の10億人が結集する国際組織です。貧困の撲滅、経済格差是正や持続可能な社会の構築を進めるとともに、2012年の国連による国際協同組合年の設定や、昨年11月のユネスコによる協同組合の無形文化遺産登録の実現にも取り組んできました。このように、世界では協同組合の価値が高まる中、わが国では、規制改革の名のもと、協同組合の果たす役割を軽視する動きが目立ちます。今こそ、協同組合の存在意義を国民各層へ発信していかなければなりません。

生き生き講座生募集
グリーンホーム落合

グリーンホーム落合では、元気高齢者を対象に、趣味ごとに月2回程度の日程で講座を開催しております。興味のある方、是非参加してみませんか？温泉入浴もできます。

詳しい講座内容・受講料などについては、JAのホームページ（ふれあい情報）をご覧ください。下記にお問い合わせください。

- 講座内容
 表具・書道・3B体操・カラオケ・パッチワーク・ヨガ・男の料理・楽しい家庭菜園・エコバンドクラフト・スポーツ吹矢・フラワーアレンジメント
- お問い合わせ
 グリーンホーム落合 ☎0198-27-3390

第19回
通常総代会の開催について

下記の通り開催しますのでお知らせ致します。

●開催日時
 平成29年5月26日(金)
 午後1時30分

●開催場所
 花巻温泉「ホテル千秋閣」
 (花巻市湯本1-125)

■お問い合わせ
 企画管理部総務課 ☎0198-23-3333

高沢翔写真展を開催します

「ぼらーの花巻」風趣点景でおなじみの高沢翔さん(本名:高橋定雄)の写真展を開催します。

今回の写真展では、今まで「風趣点景」に35回掲載された作品の中から17点を厳選し、さらに今後掲載予定の作品とオリジナル作品を含めた25点を展示します。大判写真ならではの迫力と雰囲気をご覧ください。

日時

6月3日(土)～7日(水)
 午前9時～午後4時
 ※最終日のみ午後3時まで

場所

JAコミュニティホール
 「おっほの館」花巻市野田339-1

●お問い合わせ
 企画管理部企画広報課
 ☎0198-22-6288



「ぼらーの花巻」平成29年1月号掲載

理事会だより

次の事案について審議され、全議案議決されました。
第2回理事会 開催日：4月24日(月)

■決議事項

- 第1号議案 組合員の表彰について
- 第2号議案 実務精通監事候補者及び員外監事候補者の推薦について
- 第3号議案 全国農業協同組合連合会が行う農業経営事業に関する同意について
- 第4号議案 固定資産(谷内CE湿式集塵装置更新)の取得について
- 第5号議案 固定資産(小山田CE各種操作盤システム更新)の取得について

●監事会だより

次の事項について協議されました。

第2回監事会 開催日：4月24日(月)

■協議事項

(1) 監事の選任議案に関する同意について

JA共済

JAの自動車共済 お見積りキャンペーン

応募期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

応募締切 第1期：平成29年6月30日 / 第2期：平成29年9月30日 / 第3期：平成29年12月31日 / 第4期：平成30年3月31日

キャンペーンWebサイトはこちら ▶ <http://car-cp.ja-kyosai.or.jp>
 またはJA共済ホームページ <http://www.ja-kyosai.or.jp> からアクセスできます。

**毎月の負担が軽くなる？
今すぐお見積りを!**

ご応募は簡単! うれしいプレゼントが当たります。

抽選で 7,000名様にプレゼント!

JAの自動車共済のお見積りをしていただき、キャンペーンWebサイトからご応募いただくと**素敵な賞品をプレゼント!!**

※賞品のデザイン・仕様・機種等は変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

A賞

合計200名様
 (各期50名様)

dyson smallball
 アップライト型掃除機 Dyson Small Ball™

B賞

合計200名様
 (各期50名様)

シャープ(各期50名様)
 HEALSIO
 ヘルシオグリエ ウォーターオープン専用機

Wチャンス賞

A賞・B賞に当選されなかった方に!

合計6,600名様
 (各期1,650名様)

JAタウンギフトカード

詳しくはお近くのJA窓口またはLA(ライフアドバイザー)までお問い合わせください。

風趣点景

管内四季だより⑭



「高炉跡に咲く」

釜石市橋野町（橋野鉄鉱山）

写真・文／高沢 翔（西和賀町沢内）

西和賀町をメインに風景写真を撮っている写真家。

ホームページ「高沢翔写真館」<http://shou.eek.jp>

撮影データ（デジタルカメラ） 2016年5月中旬
ISO感度：400 絞り：f16 露出補正：0.0

橋野鉄鉱山が世界遺産登録になってから二年目になります。登録前は閑散としていましたが、今は遺跡の価値も重要性も高まっているようです。

五月のある日、IBC放送で橋野鉄鉱山のヤエザクラが見頃だと聞いて、早速出かけました。

ここは標高約600mで市街地よりも遅咲きなようですが、何人かの方が桜を楽しんでいました。サクラが咲き誇る三番高炉跡。輝かしい鉄鉱山の歴史を見てきた桜です。

日 に日に、暖かさが増す今日この頃。農作業が本格的に始まる一方、辺りには鮮やかな花々が咲き始めた。休日には、サクラやカタクリなどを撮りにいったが、そんなときにふと思う。私は、植物のように日々成長できているのだろうか。たまには立ち止まってもいい。だけど、少しずつ着実に成長を続けたい。「佐藤」

仕 事中、鳥肌がたつ瞬間がある。そして一気に血が沸騰し全身に力が漲り出す。今回の特集を作る時もあった。花に懸ける生産者と職員の間、熱は、耳を通り越して魂に響き、強い思いに圧倒された。私を流れる血が、今のままでいいのかと訴えてくる。鳥肌は今を変化させる為のスイッチだ。未来を見つめ進もう。農協人として。前へ。「大内」

初 めまして！この春より広報担当となりました小原です。まだほんの2カ月ですが、取材先でそれぞれの人の思いを感じることが出来ました。その思いを記事や写真で見てください。方々にも伝わる表現にできるよう頑張ります。まだまだ未熟ですが、皆様どうぞよろしくお願い致します。「小原」



編集後記

From Editor's

